

日本史(25)「国風文化①～国文学の発達と浄土の信仰～」

○今回のポイント

かな文字の発達 は日本語表現を可能とし、多くの文学作品が誕生した。
平安時代の社会不安により仏教の目的は現世利益から来世への救いとなった。

【国文学の発達】

(1)国風文化

■9世紀後半から10世紀

・ 貴族社会を中心に、大陸文化を、日本人の人情・嗜好を加味し、日本の風土に合うように工夫

↓

・ 優雅で洗練された文化の誕生

↓

■10～11世紀の文化 → 国風化に特色があるので、「1. 国風文化」と呼ばれる。

(2)かな文字の発達

■9世紀 かな文字使用のはじまり

↓ ・ 2. 平がな]…万葉かなの草書体を簡略化したもの

↓ ・ 3. 片かな]…漢字の一部分をとったもの

[4. 表音文字]として用いる

※文字自体には意味はなく、読みだけに使用する。アルファベットなど。漢字は表意文字。

■11世紀初め かな文字の一定化と普及

↓ ☆人々の感情や感覚を日本語でイキイキと伝えることが可能になる。

■文学作品の誕生

(3)和歌

■905年 [5. 紀貫之] 勅撰和歌集『6. 古今和歌集』

・ 繊細で技巧的な歌風は、[7. 古今調]と呼ばれて長く和歌の模範とされた。

・ [8. 八代集]…古今・後撰・拾遺・後拾遺・金葉・詞花・千載・新古今

「コキン ゴ ジュ ゴジュウ 金曜しか洗剤 しん」

(4)漢文の和風化

■ 貴族、公式の場では[9. 漢字]だけで文章を記す→ 純粋な漢文とかなりへだたった和風のものになる。

・ 10世紀以降、朝廷での儀式・行事の比重が増大したこともあって、貴族はその様子を、漢字を用いて日記に詳細に記録した。日記は子孫に残すための見せるものであった。

・ 藤原道長の『10. 御堂関白記』は自筆のものが現存。 ※道長は関白にはなっていないので注意。

(5)かな文学の作品

作品名	編著者	成立	内容
11. 竹取物語	未詳	10世紀初め	竹取の翁とかぐや姫の伝奇物語。物語文学の最初。
12. 伊勢物語	未詳	10世紀中頃	和歌を中心とした120の短編からなる歌物語。
源氏物語	紫式部	1008年頃	光源氏の44帖と薫大将の悲恋[13. <u>宇治10帖</u>]
枕草子	清少納言	995年頃	一条天皇の中宮[14. <u>定子</u>]に仕えた宮廷生活
栄華(花)物語	A. 赤染衛門	11世紀頃	宇多～堀河まで200年間の歴史物語。道長への賛美。
土佐日記	B. 紀貫之	935頃	最初のかな日記。土佐から帰京するまでの日記。

【浄土の信仰】

(1) 撰関政治期の信仰

① 天台宗・真言宗

■天台・真言 2 宗が圧倒的な勢力 → 祈禱を通じて [15. 現世利益]。貴族と強く結びつく。

② [16. 本地垂迹説]

■ [17. 神仏習合] における仏と日本固有の神々とを結びつける考え方。神は仏が仮に形をかえてこの世にあらわれたもの(権現)とする思想。

・ex. [18. 天照大神] = 大日如来(太陽神に起源を持つ宇宙の根源)の化身など。それぞれの神について特定の仏をその本地として定めることが盛んとなった。

③ [19. 御霊信仰]

■ 怨霊や疫神をまつことで、疫病や飢饉などの災厄から逃れようとする信仰のこと。祟りを慰める鎮魂のための法会や祭礼である [20. 御霊会] をさかんに行う。

(2) 浄土教

① 現世利益を求めた従来の宗派

→ [21. 天台宗] ・ [真言宗] は「災いを避け、幸福を追求する」現世利益を求める。

② 現世の不安から逃れたい

→ [22. 浄土教] … 阿弥陀仏を信仰し、来世において極楽浄土に往生し、そこで悟りを得て苦がなくなることを願う教え。

③ 浄土教の僧侶たち

● [23. 空也] … 諸国を遊行したのち、念仏の功德を庶民層へ布教する念仏勧進(ネブツカンジン)を行った。「市聖(イチノヒジリ)」と呼ばれる。鎌倉時代中期の康勝(コウショウ)の作で六波羅蜜寺にある空也像は有名。

● [24. 源信] (恵心僧都) … 9 歳で出家し、延暦寺で修行。多くの教典の中から、地獄や極楽のありさまを示す要文をあつめて、念仏による極楽往生を説いた『25. 往生要集』を記した。

(3) 末法思想

→ [26. 末法思想] とは仏教による歴史のとらえ方。釈迦の教え、正しい実践、悟りが揃った正法、教えと実践のみが残る像法、仏の教えのみが残り災厄と闘争により世界が滅びに向かう末法へと衰退していく考え方に基づいている。



<当時の世情>

盗賊や乱闘が多くなり、災厄がしきにおこった。



来世で救われたいという願望



浄土教の流行!

● [27. 往生伝] … 平安中期～末期、念仏信仰の功德で浄土往生を遂げたとされる人々の伝記を集めた物。

・ [28. 慶滋保胤] の『日本往生極楽記』 … 985 年ごろに成立した最初の往生伝。聖徳太子をはじめとして、皇族から僧・庶民にいたる計 45 人の極楽往生の伝記を載せ、保胤の浄土信仰に基づいて編纂されたもの。

● [29. 経塚] … 法華経などの教典を書写し、これを容器(経筒)におさめて地中に埋める。

・ [30. 金峯山経塚] … 1007 年に藤原道長が法華経を金銅製経筒におさめて埋納したもの。